

ぶ霊水と共に

発行 法華寺
No.26
2024.6
河南町加納 247
☎0721933023

まいてら法華寺

寄り添いの寺 法華寺

お施餓鬼 法要です

「日本人は、宗教には、あまり熱心ではない」と言う人もいますが、「多くの日本人は、生活習慣に宗教が根付いているので、自分たちでは意識していなくても、十分宗教的である」と唱えたのは心理学者の河合隼雄先生(故人)です。

各寺院での「お施餓鬼法要」は、各家の供養に加えて「無縁の霊、生き物全ての霊、餓鬼道や地獄道の霊」への救いを祈る行事でもあります。法要ご参拝の檀信徒の皆様と共に祈り、供養ができることを有難く思います。昨今は気温も高い夏ですが、山寺の空気を味わっていただきたいと思います。



令和に蘇る番神堂のご尊像

よみがえ

鎌倉〜室町より伝わる「神仏習合」の象徴、當山の番神堂内のご尊像は、多くの皆様のご協力を得て二年前から修復を進めてまいりました。「三十番神」様、「鬼子母神・十羅刹女」様、「三光天子」様は、江戸中期の開眼当時の輝きを取り戻し、堂内に鎮座しておられます。

さらに、最後のご尊像、堂内「大黒天神」様(江戸初期)、「蔵王権現」様(制作年不明)について、この春、新たなお申し出を得て、修復の運びとなりました。今年の「施餓鬼法要」で、両尊像の本堂での御開帳を予定しております。

現在の番神堂は、二年ぶりに、三面のご尊像が揃い、尊いお姿が並んでおります。是非、番神堂に参拝いただき、諸尊からのお慈悲やお導きをお受け取り下さいますようお願いしております。



「大黒天神」と「蔵王権現」

日蓮大聖人は、「大黒天神供養相承事」という書簡の中で「大黒天神を信じる者は、現世安穩、裕福自在、疑いなし。甲子の日に供物を供え、祭祀あるべきものなり」と記しておられます。「大黒天神」は、インド由来の仏教の守護神で、神道の「大國主命」と習合した神様です。食物(厨房神)・財福(財神)を司り、豊かさを求めて信仰されています。

「蔵王権現」は、修験道で信仰する日本独自の仏です。當山が日隆大聖人によって開かれる以前、この地に「葛城修験道の薬師堂」があり、その流れで、村の「加納神社」のご御神体として祀られていたのが、當山の「蔵王権現」のご尊像です。明治の代になり、加納神社が廃社となり、その後、ご尊像が、「番神堂」に祀られることになりました(裏書き有り)。現在のお姿は損傷がひどく、美しいお姿ですが、今回の修復により、本来のお姿を取り戻されます。「蔵王権現」は「釈迦如来・千手観音・弥勒菩薩」が習合されて現れた(権現)姿の仏様です。

「大黒天神」・「蔵王権現」(共に資料画像)

